

令和3年7月26日

水稻栽培者 各位

台風8号接近に伴う水稻管理対策について

J A 北越後営農販売部

【台風の現況と予想】

台風8号は、26日3時には日本の東にあって、1時間におよそ20キロの速さで北北西へ進んでいます。中心の気圧は992ヘクトパスカル、最大風速は20メートル、最大瞬間風速は30メートルとなっています。

今後、台風8号は、日本の東を北西に進み上陸し、新潟県では27日から28日にかけて1時間に30ミリ以上の激しい雨が降り、大雨となるところがある見込みです。また、台風通過に伴いフェーンとなる可能性がありますので今後の台風情報を注視し登熟障害の軽減や稲体の保護に努めてください。

【台風通過に伴い、懸念されるフェーン障害】

- 強風・フェーンによる葉・茎の損傷
- 穂の損傷や登熟不良による品質低下
- 脱粒による減収

【事前対策】

- 極早生品種は登熟期、早生品種は出穂期を迎えています。水分ストレスを受けると玄米への養分転流が阻害され乳心白粒の発生を助長しますので、水分不足にならないよう今のうちから可能な限り湛水管理を行ってください。尚、コシヒカリについても同様の管理を実施してください。
- 輪番制等で取水制限がある地域では、取水可能な日（時間）を選び湛水をお願いします。また、用水のかけ流しは絶対にやめてください。

【その他】

- 今後の台風情報、警報、注意報、気象情報等に十分留意してください。
- 台風通過中の悪天候時は、安全のためほ場等の見回りは行わないようにしてください。
- 湛水期間中であっても異常高温時の長期湛水は根腐れを助長する恐れがあるので、定期的に水を更新してください。